

会津大学短期大学部 舟木 乃里恵

本年度から栄養士会に入会させていただきました、舟木乃里恵と申します。今年から会津大学短期大学の助手として勤務しております。会津短大を卒業後、4年制大学に編入学し、再び会津に戻ってまいりました。

現在は、学生時代にお世話になった先生方のサポートをするとともに、学生の栄養士育成に努めております。学生の献立内容を見てみると、単品料理が多く見受けられ、普段の食生活が変化していることを実感しています。学生一人一人に寄り添いながら、栄養士として必要な知識と技術を伝えていきたいと思っています。私自身は、福島県で課題となっている肥満や高血圧の改善に向けた取り組みを行っていききたいと考えています。

まだまだ不慣れな点が多いかと思いますが、研究教育機関の一人として、栄養士会の様々な研修会に参加させていただき、知識を深めていきたいと考えています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

福島県西白河郡矢吹町立矢吹中学校 石 森 朱 莉

今年の春から学校栄養職員として勤務し、約半年が過ぎました。慣れない業務に戸惑うこともあります。周りの先生方や調理員さんに支えられ、充実した日々を送っています。

自校給食ということもあり、「先生！今日の給食おいしかったよ！」や「カレーライスとハヤシライスの違いは何ですか？」など声をかけてくれる生徒も多く、笑顔で給食を食べている姿を見ると、とても嬉しく思います。

福島県では、子どもたちの食習慣の乱れや肥満傾向、体力低下や伝統的食文化の継承などの問題や課題が多くあります。この状況を少しずつ改善していくために、学校、家庭、地域が一体となって、食育を進めていく必要があると感じています。

そのためには様々な研修会へ参加し、知識を身につけ、子どもたちへ食べ物のおいしさや栄養の大切さ、楽しさを伝えていきたいと思っています。至らぬ点も多々あると思いますが、ご指導宜しくをお願いいたします。

福島復興給食センター株式会社 大 澤 知 抄

本年度より、福島県栄養士会に入会させていただきました管理栄養士の大澤と申します。

学校卒業後福祉施設で勤務していましたが、“福島復興の最前線に立って福島第一原発で作業されている方々に「温かくて美味しい食事」を提供したい”との思いで大熊町にある「福島復興給食センター」に勤務することを決め、1年が経過しようとしています。今は毎日厨房に入り、実際の調理作業にも参加して、「どうしたらもっと美味しい料理を提供できるか」という課題をもって日々調理員の方々と一緒に試行錯誤しながら、仕事をしています。

今後の目標は、記憶に残るような美味しい食事を提供するために研修会等に積極的に参加し、栄養士としての質を高めていきたいと思っています。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。